

令和7年
(2025)

1月24日(金)

14:00~16:40 13:30 開場

川崎市産業振興会館 1Fホール

JR川崎駅北口西から徒歩7分

参加者募集
入場無料

成果報告

森林の「干害発生メカニズムの解明」や「リスク評価」を中心に、間伐に伴う風害リスク、効率的な被害調査方法など、森林の気象害に関する研究成果を報告します。

申込み

右の申込みフォームから、
2025年1月17日(金)までに
お申込みください。



※ 会場の都合により、150名を超えた場合は
申込を締め切らせていただきます。

強風、大雪、干ばつ、山火事と森林被害

ー リスク評価の新展開 ー



主催



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター、森林総合研究所

令和7年
(2025) 1月24日(金)

強風、大雪、干ばつ、山火事と森林被害

— リスク評価の新展開 —

森林は、長い生育期間中に強風や大雪、干ばつ、山火事などの様々な災害の危険に遭遇します。

森林保険センターと森林総合研究所は、林業経営の安定や被災地の早期復旧による森林の多面的機能の発揮に役立てるため、気象害の発生プロセスの解明やリスク評価に連携して取り組んできました。

シンポジウムでは、干害の発生メカニズムの解明とリスク評価を中心に、間伐に伴う風害リスク、効率的な被害調査方法など気象害に関する様々な研究成果を紹介します。



たもちい そよりん
森林保険公式キャラクター

Program

【成果報告】

森林総合研究所と森林保険センターの連携事業の趣旨

森林保険センター 所長 馬場敏郎

1. プロジェクト成果の位置づけ

森林総合研究所 森林災害・被害研究拠点 拠点長 鈴木 寛

2. 気象害リスクの変化 ～過去から現在、将来にかけて～

森林総合研究所 森林防災研究領域 主任研究員 勝島隆史

3. 干ばつと森林 ～どうやって枯れるのか、どこで枯れやすいのか～

(1) どこまで乾くと干害が発生するのか？その生理メカニズムを探る

森林総合研究所 植物生態研究領域 樹木生理研究室長 飛田博順

(2) どんな場所で干害が発生しやすいのか？

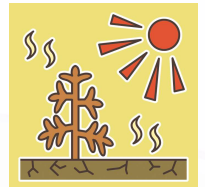
森林総合研究所 森林災害・被害研究拠点 主任研究員 岩崎健太

4. 間伐によって風害リスクがどれだけ変わるか

森林総合研究所 森林災害・被害研究拠点 主任研究員 宮下彩奈

5. 効率的な森林被害調査を衛星技術で支える

森林総合研究所 森林災害・被害研究拠点 チーム長 高橋正義



【ポスター展示】

人工林の生長に伴う林野火災発生危険日の変化 ～前橋市周辺を例として～ ほか

お申込み

森林保険センターWebサイトのシンポジウム申込みフォームからお申込みください。

【申込期限】

1月17日(金)

申込みフォーム



※会場の都合により、150名を超えた場合は 締め切らせていただきます。

お問い合わせ

国立研究開発法人森林研究・整備機構



森林保険センター シンポジウム事務局

TEL 044-382-3503

E-mail contact.fic@green.go.jp

会場のご案内

川崎市産業振興会館 1Fホール (神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20)

JR川崎駅北口西から徒歩7分／京急川崎駅から徒歩7分

※ご来場の際は、電車・バスをご利用ください。

※お車でのご来場の際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。

